

平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査
(平成21年度調査)
調査票(案)

- 7:1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査(医療機関における医療機能の分化・連携に与えた影響調査)
 - ・ 施設調査票(病院) 1頁
 - ・ 病棟調査票(一般病棟用) 10頁
 - ・ 病棟患者調査票(一般病棟用) 14頁
 - ・ 病棟調査票(亜急性期病室用) 19頁
 - ・ 病棟患者調査票(亜急性期病室用(入院中)) 23頁
 - ・ 病棟患者調査票(亜急性期病室用(退院)) 26頁
 - ・ 施設調査票(診療所) 30頁

- 回復期リハビリテーション病棟入院料において導入された「質の評価」の効果の実態調査
 - ・ 施設調査票 34頁
 - ・ 病棟調査票 43頁
 - ・ 退棟患者調査票 50頁

- ニコチン依存症管理料算定保険医療機関における禁煙成功率の実態調査
 - ・ 施設調査票 52頁
 - ・ 患者調査票 54頁

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 21 年度調査）

**7 対 1 入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料
及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、
及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査（案）**

- 特に指示がある場合を除いて、平成21年〇月1日現在の状況についてお答え下さい。
- 数値を記入する設問で、該当する者・施設等が無い場合は、「0」（ゼロ）をご記入下さい。
- 設問中の「一般病棟」は、「一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）」を指します。

■本調査票のご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成 21 年 () 月 () 日
ご記入担当者名	
連絡先電話番号	
連絡先 FAX 番号	

■貴病院の概要についてお伺いします。

問 1 貴病院の開設者として該当するものをお選びください。（〇は1つ）

- 01 国（厚生労働省,独立行政法人国立病院機構,国立大学法人,独立行政法人労働者健康福祉機構,その他）
- 02 公的医療機関（都道府県,市町村,一部事務組合,日赤,済生会,北海道社会事業協会,厚生連,国民健康保険団体連合会）
- 03 社会保険関係団体（全国社会保険協会連合会,厚生年金事業振興団,健康保険組合,共済組合,国民健康保険組合等）
- 04 医療法人
- 05 個人
- 06 その他（公益法人,学校法人,社会福祉法人,医療生協,会社,その他法人）

問 2 貴病院の承認等の状況について該当するものを全てお選びください。（〇はいくつでも）

承認等の状況 (〇はいくつでも)	01 高度救命救急センター	08 特定機能病院
	02 救命救急センター	09 地域医療支援病院
	03 二次救急医療機関	10 DPC 対象病院
	04 災害拠点病院	11 DPC 準備病院
	05 総合周産期母子医療センター	12 がん診療連携拠点病院
	06 地域周産期母子医療センター	13 専門病院 ^{注1}
	07 小児救急医療拠点病院	

注 1) 専門病院とは、主として悪性腫瘍、循環器疾患等の患者を入院させる保険医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして地方社会保険事務局長に届け出たものを指す。

問3 貴病院における下記の診療報酬に係る届出状況について、届出をされているものとして該当するものを全てお選びください。(〇はいくつでも)

届出の状況 (〇はいくつでも)	01 入院時医学管理加算	10 医師事務作業補助体制加算 75対1補助体制加算
	02 臨床研修病院入院診療加算1(単独型・管理型)	11 医師事務作業補助体制加算 100対1補助体制加算
	03 臨床研修病院入院診療加算2(協力型)	12 緩和ケア診療加算
	04 救急医療管理加算	13 医療安全対策加算
	05 乳幼児救急医療管理加算	14 褥瘡患者管理加算
	06 超急性期脳卒中加算	15 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
	07 診療録管理体制加算	16 退院調整加算
	08 医師事務作業補助体制加算 25対1補助体制加算	17 後期高齢者退院調整加算
	09 医師事務作業補助体制加算 50対1補助体制加算	

問4 貴病院における平成21年6月時点の下記の診療報酬に係る届出の状況について、届出を行っているものを全てお選びください。(〇はいくつでも)

平成21年6月	
届出の状況 (〇はいくつでも)	01 一般病棟 7対1入院基本料(準7対1)
	02 一般病棟 10対1入院基本料
	03 回復期リハビリテーション病棟入院料1
	04 回復期リハビリテーション病棟入院料2
	05 亜急性期入院医療管理料1
	06 亜急性期入院医療管理料2

問5 貴病院の平成21年6月1日時点の届出病床数についてご記入ください。

平成21年6月1日			
	届出状況	病床数	
(1) 届出病床数 総数		床	
(2) 一般病床		床	
(3) [再掲] 一般病棟入院基本料のみ算定する病床		床	
特定入院料の届出病床	(4) [再掲] 救命救急入院料	有・無	床
	(5) [再掲] 特定集中治療室管理料	有・無	床
	(6) [再掲] ハイケアユニット入院医療管理料	有・無	床
	(7) [再掲] 脳卒中ケアユニット入院医療管理料	有・無	床
	(8) [再掲] 新生児特定集中治療室管理料	有・無	床
	(9) [再掲] 総合周産期特定集中治療室管理料	有・無	床
	(10) [再掲] 小児入院医療管理料1	有・無	床
	(11) [再掲] 回復期リハビリテーション病棟入院料		床
	(12) [再掲] 亜急性期入院医療管理料		床
	(13) 療養病床(医療保険適用)	有・無	床
(14) [再掲] 回復期リハビリテーション病棟入院料	有・無	床	
(15) 療養病床(介護保険適用)	有・無	床	
(16) 精神病床	有・無	床	
(17) その他(感染病床・結核病床等)	有・無	床	

問6 貴病院の外来患者数、入院患者数、全身麻酔手術件数、他の医療機関からの患者紹介比率について、平成20年6月及び平成21年6月の総数をご記入ください。			
	平成20年6月		平成21年6月
(1) 外来患者数	人		人
(2) 入院患者数	人		人
(3) 全身麻酔（静脈麻酔は除く）手術件数	件		件
(4) 他の医療機関からの患者紹介比率 ^{注1}	%		%

注1) 患者紹介比率は、小数点第二位を切り捨て小数点第一位までを記入。

問7 貴病院の平成21年6月1日時点で雇用している職員数をご記入ください。			
	平成21年6月1日		
	常勤	非常勤 (常勤換算 ^{注2})	
(1) 看護師	人	人	
(2) [再掲] 一般病棟 ^{注1} における看護師	人	人	
(3) 准看護師	人	人	
(4) [再掲] 一般病棟 ^{注1} における准看護師	人	人	
(5) 看護補助者	人	人	
(6) [再掲] 一般病棟 ^{注1} における看護補助者	人	人	
(7) 医師	人	人	
(8) 薬剤師	人	人	
(9) 理学療法士	人	人	
(10) 作業療法士	人	人	
(11) 言語聴覚士	人	人	
(12) 診療放射線技師	人	人	
(13) 臨床検査技師	人	人	
(14) 臨床工学技士	人	人	
(15) ソーシャルワーカー	人	人	
(16) 事務職員	人	人	

注1) 設問中の「一般病棟」は、「一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）」を指す。

注2) 非常勤職員の常勤換算の算出方法

貴院の1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを記入。

例：1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週4日（各日5時間）勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{非常勤看護師数} = \frac{4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 0.5人$$

問8 貴病院は大腿骨頸部骨折及び脳卒中に係る地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の届出をされていますか。該当する選択肢番号に○をお付けください。			
(1) 地域連携診療計画管理料（○は1つ）	01 届出なし	02 届出あり	
(2) 地域連携診療計画退院時指導料（○は1つ）	01 届出なし	02 届出あり	

問8において、地域連携診療計画管理料あるいは地域連携診療計画退院時指導料のいずれかについて「01 届出あり」と回答された場合には、以下の問9～12にもご回答ください。

いずれかについても「02 届出なし」と回答された場合には、問13へお進みください。

問 9 貴病院が大腿骨頸部骨折及び脳卒中に係る地域連携診療計画管理料及び地域連携診療計画退院時指導料の届出の際に記載した計画管理病院、連携保険医療機関の施設数をご記入ください。

		平成 21 年		
大腿骨頸部骨折	(1) 計画管理病院		施設	
	(2) [再掲] 7 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設	
	(3) [再掲] 10 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設	
	(4) [再掲] 13 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設	
	(5) [再掲] 15 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設	
	(6) [再掲] 療養病棟入院基本料届出病院		施設	
	連携保険医療機関	(7) 病院		施設
		(8) [再掲] 7 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設
		(9) [再掲] 10 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設
		(10) [再掲] 13 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設
		(11) [再掲] 15 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設
		(12) [再掲] 療養病棟入院基本料届出病院		施設
		(13) [再掲] 回復期リハビリテーション病棟入院料届出施設		施設
		(14) [再掲] 亜急性期入院医療管理料届出施設		施設
	(15) 有床診療所		施設	
脳卒中			平成 21 年	
	(16) 計画管理病院		施設	
	(17) [再掲] 7 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設	
	(18) [再掲] 10 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設	
	(19) [再掲] 13 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設	
	(20) [再掲] 15 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設	
	(21) [再掲] 療養病棟入院基本料届出病院		施設	
	連携保険医療機関	(22) 病院		施設
		(23) [再掲] 7 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設
		(24) [再掲] 10 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設
		(25) [再掲] 13 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設
		(26) [再掲] 15 対 1 入院基本料 (一般病棟) 届出病院		施設
		(27) [再掲] 療養病棟入院基本料届出病院		施設
		(28) [再掲] 回復期リハビリテーション病棟入院料届出施設		施設
		(29) [再掲] 亜急性期入院医療管理料届出施設		施設
(30) 有床診療所		施設		

問 10 貴病院における平成 20 年度の大腿骨頸部骨折及び脳卒中の地域連携診療計画に係る情報交換のための連携医療機関との会合について、開催状況をご記入ください。

		平成 20 年度	
(1) 大腿骨頸部骨折に係る連携医療機関との会合の開催回数			回
(2) 脳卒中に係る連携医療機関との会合の開催回数			回

問 11 貴病院における大腿骨頸部骨折及び脳卒中に係る地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の算定患者について、平成 20 年度の算定患者数をご記入ください。			
大腿骨頸部骨折		平成 19 年度	平成 20 年度
	(1) 大腿骨頸部骨折による入院患者数	人	人
	(2) [再掲] 地域連携診療計画管理料を算定した患者数		人
	(3) [再々掲] 設定した入院期間内に連携医療機関へ転院・退院できた患者数		人
	(4) [再々掲] 連携医療機関から診療情報がフィードバックされた患者数		人
	(5) [再掲] 地域連携診療計画退院時指導料を算定した患者数		人
	(6) [再々掲] 設定した入院期間内に退院・転院できた患者数		人
脳卒中		平成 19 年度	平成 20 年度
	(7) 脳卒中による入院患者数	人	人
	(8) [再掲] 地域連携診療計画管理料を算定した患者数		人
	(9) [再々掲] 設定した入院期間内に連携医療機関へ転院・退院できた患者数		人
	(10) [再々掲] 連携医療機関から診療情報がフィードバックされた患者数		人
	(11) [再掲] 地域連携診療計画退院時指導料を算定した患者数		人
(12) [再々掲] 設定した入院期間内に退院・転院できた患者数		人	

問 12 貴病院における大腿骨頸部骨折及び脳卒中に係る地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の算定患者について、平成 19 年度及び平成 20 年度の平均在院日数をご記入ください。			
大腿骨頸部骨折		平成 19 年度	平成 20 年度
	(1) 大腿骨頸部骨折による入院患者の平均在院日数	日	日
	(2) [再掲] 地域連携診療計画管理料算定患者の平均在院日数	日	日
(3) [再掲] 地域連携診療計画退院時指導料算定患者の平均在院日数	日	日	
脳卒中		平成 19 年度	平成 20 年度
	(4) 脳卒中による入院患者の平均在院日数	日	日
	(5) [再掲] 地域連携診療計画管理料算定患者の平均在院日数		日
(6) [再掲] 地域連携診療計画退院時指導料算定患者の平均在院日数		日	

注) 平均在院日数は、小数点第二位を切り捨て小数点第一位までを記入。

問 13 貴病院には、 <u>退院調整に関する部門</u> はございますか。該当する選択肢番号に○をお付けください。 (○は1つ)					
なお、部門がある場合は、当該部門にて退院調整業務を専従、専任で行っている職員に区分し、平成 21 年 6 月 1 日時点で雇用しているそれぞれの実人員数をご記入ください。					
退院調整に関する部門の 設置状況	設置状況 (「01 有」の場合、部門の職種別実人員数)				
	01 無	02 有 →		専従 ^{注1}	専任 ^{注2}
			01 医師	人	人
			02 看護師	人	人
			03 社会福祉士・MSW	人	人
			04 事務職員	人	人
05 その他	人	人			

注 1) 専従とは、当該部門の業務のみに従事している者をいう。

注 2) 専任とは、当該部門での業務とその他の部署等での業務を兼務している者をいう (例: 午前の 3 時間は当該部門の退院調整に関する業務に従事するが、午後の 5 時間は病棟での診療業務に従事する者等を指す)。

問 14 貴病院の医療機能に係る今後の方針について該当するものをお選びください。

(1) 貴病院では特定の医療機能（急性期医療機能や療養機能など）への特化を予定されていますか（○は1つ）

01 特化する予定である 02 特化する予定はない

(2) 【(1)で「01 特化する予定である」場合のみ】
今後、特化する予定の医療機能はどちらですか。（○は1つ）

01 急性期医療機能 02 回復期リハビリ機能 03 療養機能

(3) 【(1)で「01 特化する予定である」場合のみ】
今後、亜急性期医療機能を保持、拡充する予定はありますか。（○は1つ）

01 保持、拡充する予定がある 02 保持、拡充する予定はない

(4) (1) の方針の理由についてご記入ください。

【自由回答】

問 15 貴病院の連携に係る今後の方針について該当するものをお選びください。

(1) 貴病院では他の医療機関との連携についてどのような方針をお持ちですか（○は1つ）

01 特に他の医療機関と連携するつもりはない
02 同一法人内の他の医療機関と連携をとる
03 同一法人か否かは問わず、地域の他の医療機関と連携をとる

(2) 貴病院では連携する医療機関数についてどのような方針をお持ちですか（○は1つ）

01 増やしたい 02 減らしたい 03 現状のままでよい

(3) 【(2)で「01 増やしたい」場合のみ】
今後の連携先として増やしたい医療機能はどちらですか。また、その医療機能を持つ医療機関は地域に十分に
ありますか。（○はいくつでも）

01 急性期医療機能	02 亜急性期医療機能	03 回復期リハビリ機能	04 療養機能
↓	↓	↓	↓
01 地域に十分にある	01 地域に十分にある	01 地域に十分にある	01 地域に十分にある
02 地域に十分でない	02 地域に十分でない	02 地域に十分でない	02 地域に十分でない
03 地域に全くない	03 地域に全くない	03 地域に全くない	03 地域に全くない
04 不明	04 不明	04 不明	04 不明

(4) (1) 及び (3) の方針の理由についてご記入ください。

【自由回答】

■最後に、本調査に関連した事項でご意見等がございましたら、下欄に自由にお書き下さい。

設問は以上です。ご協力まことに有り難うございました。

記入漏れがないかをご確認の上、○月○日(○)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函下さい。

平成 20 年度診療報酬改定結果検証に係る調査

医療機関における医療機能の分化・連携に与えた影響調査（案）

- 特に指示がある場合を除いて、平成21年〇月1日現在の状況についてお答え下さい。
- 数値を記入する設問で、該当する者・施設等が無い場合は、「0」（ゼロ）をご記入下さい。
- 設問中の「一般病棟」は、「一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）」を指します。なお、一般病棟と結核病棟を併せて1看護単位として7対1入院基本料の届出をしている場合には、結核病棟における値も含んでお答え下さい。

■本調査票のご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成 21 年 () 月 () 日
ご記入担当者名	
連絡先電話番号	
連絡先 FAX 番号	

■貴病院の一般病棟についてお伺いします。

問1 貴病院で「一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）」（以下、一般病棟という。）についてお伺いいたします。平成 20 年 6 月及び平成 21 年 6 月における一般病棟の入院患者数及び転棟・転院・退院患者数、平均在院日数、病床利用率をご記入ください。

	平成 20 年 6 月	平成 21 年 6 月
(1) 入院患者数 ^{注1}	人	人
(2) 転棟・転院・退院患者数 ^{注2}	人	人
(3) 平均在院日数（平成 20 年 4～6 月及び平成 21 年 4～6 月の 3 ヶ月の平均）	日	日
(4) 病床利用率（平成 20 年 4～6 月及び平成 21 年 4～6 月の 3 ヶ月の平均）	%	%

注1）入院患者数：新規入院患者数（転院含む）あるいは新規転棟患者数

注2）転棟・転院・退院患者数：以下の「転棟」、「転院」、「退院」の用語の定義に該当する患者数の合計

転棟：現在算定している入院基本料とは異なる病棟に移動した場合のみ的人数（例：一般病棟入院基本料から回復期リハビリテーション入院料届出病床へと移動した場合には1とするが、一般病棟入院基本料内での移動については0とする。）

転院：別の医療機関に移動した人数

退院：自宅又は医療機関ではない施設に移動した人数

問2 貴病院の平成 21 年 6 月における一般病棟の入院患者数について、院内他病棟からの転棟と院外からの入院（転院含む）を区別してご記入ください。また、一般病棟の退院患者数について、院内他病棟への転棟と院外への退院（転院含む）を区別してご記入ください。

平成 21 年 6 月	入院患者延べ数				転棟・転院・退院患者延べ数			
	院内の一般病棟以外の病床から	院外から			院内の一般病棟以外の病床へ	院外へ		
		他病院から転入	老健施設・特養施設から転入	自宅から		他病院へ転出	老健施設・特養施設へ転出	自宅へ
一般病棟	人	人	人	人	人	人	人	人

一般病棟入院基本料で7対1入院基本料を算定している医療機関、あるいはその他の入院基本料を算定している医療機関で「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る調査票」により評価を行っている医療機関は、以下の問3～5にもご回答ください。

上記以外の医療機関については、次頁の最後の自由回答の設問へお進みください。

問3 貴病院の一般病棟における 重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合 をご記入ください。			
	平成20年6月		平成21年6月
(1) 重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合 (②/①) ^{注1}	%		%

注1) 重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合の算出方法

貴病院における下記の①、②の数値から、②/①により割合を算出し、小数点第二位以下切り捨てて小数点第一位までを記入。

① 入院患者延べ数

入院患者延べ数とは、算出期間中に一般病棟入院基本料を算定している延べ患者数をいう。なお、産科及び小児科の患者数は含めない。

② ①のうち重症度・看護必要度の基準を満たす患者の延べ数

「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」を用いて評価を行い、Aモニタリング及び処置等に係る得点が「2点以上」、かつ、B患者の状況等に係る得点が「3点以上」である患者をいう。なお、産科及び小児科の患者数は含めない。

問4 貴病院の一般病棟において、「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」を用いて評価を行った患者の**Aモニタリング及び処置等に係る得点**、**B患者の状況等に係る得点**について、平成20年6月及び平成21年6月の**平均値**、**各得点ごとの入院患者延べ数**をご記入ください。

		平成20年6月		平成21年6月			
(1) 一般病棟におけるAモニタリング及び処置等に係る得点の平均値 ^{注1}		点		点			
(2) 一般病棟におけるB患者の状況等に係る得点の平均値 ^{注1}		点		点			
(3) 平成20年6月の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」の各得点ごとの入院患者延べ数 ^{注2}							
		B患者の状況等に係る得点					
		0～2点	3点	4点	5点	6～8点	9～12点
Aモニタリング及び処置等に係る得点	0～1点	人	人	人	人	人	人
	2点	人	人	人	人	人	人
	3点	人	人	人	人	人	人
	4点	人	人	人	人	人	人
	5～7点	人	人	人	人	人	人
	8～10点	人	人	人	人	人	人
(4) 平成21年6月の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」の各得点ごとの入院患者延べ数 ^{注2}							
		B患者の状況等に係る得点					
		0～2点	3点	4点	5点	6～8点	9～12点
Aモニタリング及び処置等に係る得点	0～1点	人	人	人	人	人	人
	2点	人	人	人	人	人	人
	3点	人	人	人	人	人	人
	4点	人	人	人	人	人	人
	5～7点	人	人	人	人	人	人
	8～10点	人	人	人	人	人	人

注1) 平均値は、小数点第三位を四捨五入して小数点第二位まで算出する。

注2) 入院患者延べ数とは、算出期間中に7対1入院基本料を算定している延べ患者数をいう。なお、患者数に産科及び小児科の患者数は含めない。

問5 貴病院の平成21年6月1日時点の**一般病棟入院基本料を算定している病床を有する病棟数**についてご記入ください。

	平成21年6月1日
一般病棟入院基本料を算定している病床を有する病棟数	病棟

問6 貴病院における一般病棟入院基本料を算定している病床(特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く)を有する個別の病棟について**病棟別の患者状態像の違い**をお伺いいたします。
 個別の病棟毎(産科及び小児科病棟は除く)に平成21年6月の一般病棟における重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合^{注1}を算出し、割合が最も高い病棟から3ヶ所と最も低い病棟から3ヶ所について、**病棟名と平成21年6月の重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合**をご記入ください。

	順位	コード	病棟名 例：4階東病棟、4W病棟等	重要度・看護必要度の基準を満たす患者の割合 ^{注1} (②/①)	
				平成21年6月	
(1) 割合の高い病棟から3ヶ所	1	A1			%
	2	A2			%
	3	A3			%
(2) 割合の低い病棟から3ヶ所	1	B1			%
	2	B2			%
	3	B3			%

注1) 重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合の算出方法

各病棟における下記の①、②の数値から、②/①により割合を算出し、小数点第二位以下切り捨ててで小数点第一位までを記入。

① 入院患者延べ数

入院患者延べ数とは、算出期間中に一般病棟入院基本料を算定している延べ患者数をいう。なお、産科及び小児科の患者数は含めない。

② ①のうち重症度・看護必要度の基準を満たす患者の延べ数

「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」を用いて評価を行い、Aモニタリング及び処置等に係る得点が「2点以上」、かつ、B患者の状況等に係る得点が「3点以上」である患者をいう。なお、産科及び小児科の患者数は含めない。

注) 貴病院の個別の病棟数が5ヶ所以下の場合、「割合の低い病棟上位3ヶ所の3位」を空欄とし、全ての病棟についてご記入ください。

■最後に、本調査に関連した事項でご意見等がございましたら、下欄に自由にお書き下さい。

設問は以上です。ご協力誠に有り難うございました。

なお、同封いたしました「病棟票(一般病棟用)」につきましては、問6でご記入いただいたA1～A3、B1～B3の各病棟へ配布していただき、各病棟の看護師長に記載をご依頼いただきたく存じます。

お手数をおかけし、誠に恐縮ではございますが、何卒宜しく願い申し上げます。

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 21 年度調査）

**7 対 1 入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料
及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、
及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査（案）**

- 特に指示がある場合を除いて、平成21年〇月1日現在の状況についてお答え下さい。
- 数値を記入する設問で、該当する者・施設等が無い場合は、「0」（ゼロ）をご記入下さい。
- 設問中の「一般病棟」は、「一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）」を指します。

一般病棟名	AO	
-------	----	--

■本調査票の一般病棟名・ご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成 21 年 () 月 () 日
ご記入担当者名	

■貴病棟の概要についてお伺いします。

問 1 貴病棟の診療科目について該当する主なものを 3 つ以内でお選びください。01～36 に定める診療科目以外を標榜している場合には、最も近似する診療科名をお選びください。（〇は 3 つまで）

01 内科	10 アレルギー科	19 小児外科	28 性病科
02 呼吸器科	11 リウマチ科	20 産婦人科	29 こう門科
03 消化器科（胃腸科）	12 外科	21 産科	30 リハビリテーション科
04 循環器科	13 整形外科	22 婦人科	31 放射線科
05 小児科	14 形成外科	23 眼科	32 麻酔科
06 精神科	15 美容外科	24 耳鼻いんこう科	33 歯科
07 神経科	16 脳神経外科	25 気管食道科	34 矯正歯科
08 神経内科	17 呼吸器外科	26 皮膚科	35 小児歯科
09 心療内科	18 心臓血管外科	27 泌尿器科	36 歯科口腔外科

問 2 貴病棟で算定している診療報酬として該当するものを全てお選びください。（〇はいくつでも）

貴病棟で算定している診療報酬	01 一般病棟 7 対 1 入院基本料（準 7 対 1） 02 一般病棟 10 対 1 入院基本料 03 亜急性期入院医療管理料 1 04 亜急性期入院医療管理料 2
----------------	--

問 3 貴病棟の届出病床数について、平成 21 年 6 月 1 日の時点の総数と内訳をご記入ください。

	平成 21 年 6 月
(1) 届出病床数 総数	床
(2) 一般病床	床
(3) [再掲] 亜急性期入院医療管理料が算定可能な病床	床
(4) [再掲] (3) 以外で特定入院料が算定可能な病床	床

以下の設問では、貴病棟の「一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）」に限ってご回答ください。

問4 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）に入院している患者について、平成21年6月1日0時の時点で入院している人数をご記入ください。

平成21年6月1日	
入院患者数	人

問5 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）において、平成21年6月1日の時点で雇用している看護師、准看護師、看護補助者の人数をご記入ください。

	平成21年6月1日	
	常勤	非常勤 (常勤換算 ^{注1})
(1) 看護師	人	人
(2) 准看護師	人	人
(3) 看護補助者	人	人

注1) 非常勤職員の常勤換算の算出方法

貴院の1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを記入。

例：1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週4日（各日5時間）勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{非常勤看護師数} = \frac{4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 0.5人$$

問6 一般病棟入院基本料を算定している病床を含む貴病棟全体において、平成21年6月1日の時点で専従・専任している職種別の職員数について、一週間当たりの勤務状況から算出した常勤換算後の人数をご記入ください。

平成21年6月1日		平成21年6月1日	
(1) 医師	人	(6) 診療放射線技師	人
(2) 薬剤師	人	(7) 臨床検査技師	人
(3) 理学療法士	人	(8) 臨床工学技士	人
(4) 作業療法士	人	(9) ソーシャルワーカー	人
(5) 言語聴覚士	人	(10) 事務職員	人

注) 専従とは、貴病棟の業務のみに従事している者をいう。専任とは、貴病棟での業務とその他の部署等での業務を兼務している者をいう（例：午前の3時間は貴病棟の薬剤管理業務に従事するが、午後の5時間は薬剤部門での調剤業務に従事する者等を指す）。

注) 専従・専任している職員の常勤換算の算出方法

貴病院の1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを記入。

例：1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、貴病棟に専任の薬剤師が1人、週4日（各日1時間）勤務の専任の薬剤師が1人いる場合

$$\text{専任薬剤師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 1人 + 4日 \times 1時間 \times 1人}{40時間} = 1.1人$$

問7 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）における入院患者数、転棟・転院・退院患者数、平均在院日数、病床利用率について、平成20年6月及び平成21年6月の数値をご記入ください。

	平成20年6月	平成21年6月
(1) 入院患者数 ^{注1}	人	人
(2) 転棟・転院・退院患者数 ^{注2}	人	人
(3) 平均在院日数（平成20年4～6月及び平成21年4～6月の3ヶ月の平均）	日	日
(4) 病床利用率（平成20年4～6月及び平成21年4～6月の3ヶ月の平均）	%	%

注1) 入院患者数：新規入院患者数（転院含む）あるいは新規転棟患者数

注2) 転棟・転院・退院患者数：以下の「転棟」、「転院」、「退院」の用語の定義に該当する患者数の合計

○転棟：別の病棟に移動した人数

○転院：別の医療機関に移動した人数

○退院：自宅又は医療機関ではない施設に移動した人数